

がつ ど い り ん ぼ か ん  
5月 土居隣保館カレンダー



にち 日	げつ 月	か 火	すい 水	もく 木	きん 金	ど 土
			1	2 入-アロビ ック 10:00~	3 けんぽうきねんひ 憲法記念日	4 みどりの日
5 こどもの日	6 ふりかえきゅうじつ 振替休日	7 からてきょうしつ 空手教室	8	9 入-アロビ ック 10:00~	10	11
12 ははのひ 母の日	13 クラフト バンド教室 10:00~	14 からてきょうしつ 空手教室	15	16 あいりんれん じよせい 愛隣連 女性 ぶ そうかい 部総会	17 じんけんざだんかい 人権座談会 18:30~	18
19	20	21 からてきょうしつ 空手教室	22	23 入-アロビ ック 10:00~	24	25 もっこうきょうしつ 木工教室 10:00~
26	27	28 あいりんれん しんにん 愛隣連 新任 しゃけんしゅう 者研修 いまばり (今治)	29	30	31	

りんぼかん じんけんそうだん しょくぎょうそうだん おこな  
隣保館では人権相談や職業相談を行っています

なや  
悩んでいることはありませんか？

りんぼかんは、いつでも人権に関わる悩みを相談できる窓口です。「職場でのハラスメント」、「職場や学校に行けない」など何でも相談してください。  
また、ハローワークの巡回相談(職業相談)を行っています。巡回相談は、電話による予約制となっています。



The Best Paper City  
感謝、そして未来へ

ど い り ん ぼ か ん だ よ  
土居隣保館便り

れいわ ねん  
令和6年

5 がつごう  
月号

はっこう ど い り ん ぼ か ん  
発行:土居隣保館 〒799-0703 しこくちゅうおうしどいちようふじわら  
四国中央市土居町藤原5-400-3 TEL/FAX 28-6356

ちいき かた  
地域の方がクリスマスローズとクンシランを持ってきてくれました。



がつしよじゆん がつげしゆん  
4月初旬にクリスマスローズ、4月下旬にクンシランを持ってきてくれました。

きれいなオレンジ色の花とつややかな葉が印象的です。ありがとうございました。

あさ りんぼかん く はな むか あたた きも  
朝、隣保館に来るとたくさんの花が迎えてくれ、温かい気持ちになります。

これから隣保館で多くの人に出会い、大切なことをひとつひとつ学んでいきたいと思ひます。いつも心にゆとりを持ち、優しい気持ちもどんどん成長させていきます。

みなさま きかい  
皆様も機会がありましたらぜひ見に来てください。



The Best Paper City  
感謝、そして未来へ

しゅじ こうたい  
主事が交代します

たいにん わたなべ こうじ  
退任のごあいさつ 渡邊 浩二



ねんかん みじか きかん  
1年間という短い期間ではありましたが、皆様にご協力いただき事業を遂行できたことをうれしく思います。本当にありがとうございました。

ど いりんほかん きんむ こうえんかい けんしゅうかい さんか わたし ひと い  
土居隣保館で勤務し、講演会や研修会に参加して私にとって、人として生きていくうえで

たくさん まな どうわもんだい はじ えるじーびーていーきゅー みんぞくさべつ  
沢山のことを学ばせていただきました。同和問題を初めLGBTQ、アイヌ民族差別、

げんぱくさべつなどさまざま ぶんや こうえん き さべつ へんけん さいにんしき くに  
原爆差別等様々な分野の講演を聴き、いろいろな差別や偏見があることを再認識し、この国の

じんけん たい ほうせいど おく いきどお かん  
人権に対する法制度の遅れに 憤りを感じました。

また、人とのつながりや連携がとても重要であり、人それぞれの「普通」の尺度の相違が  
あってアンコンシャスバイアス（無意識な思い込みや偏見）により、人の発言が形成されやすい

ことが多いと感じました。これからも、人権意識を研ぎ澄まし発言・行動したいと思います。

いちねんかん  
一年間、ありがとうございました。

しゅうにん たかはし けんたろう  
就任のごあいさつ 高橋 建太郎



がつ ど いりんほかんしゅじ ちやくにん たかはしけんたろう  
4月から土居隣保館主事として着任しました高橋建太郎です。

これまで、学生時代や職場の人権・同和教育を通して、差別が残っているのは差別する人がいる  
からだということを知りました。そして差別をなくす責任は差別をしている人にある、差別をなくす  
ためには同じ思いの人とのつながりや絆が大切であると学んできました。

これから、隣保館主事として全ての差別を無くしていくため、一つひとつの出会いを大切に、

差別を無くしていく仲間作りから始めていきます。よろしくお願ひします。

## 「取組すぎ」という声から

どうわもんだい かん とりくみ おこな なか とりくみ こえ き  
同和問題に関する取組を行っていく中で、「取組すぎ」という声を聞くことがあり  
ます。早期解決するために法令等を整備しても、差別が現存し、人生に被害を受けて  
いる人がいます。それは今も差別をしている人がいるからです。差別とは何か、人権  
とは何か、権利とは何かの認識が十分ではない人がいます。私たちが自分らしく生  
きるためには差別のない社会を築いていかなければいけません。そのために人権・  
同和教育が大切です。「取組すぎ」ということは決してありません。

とりくみ おも ひと どうわもんだい わたし かんけい わたしひとり がんば  
「取組すぎ」と思う人は、同和問題について私には関係ない、私一人が頑張っ  
ても社会は変わらないと思っているのではないのでしょうか。

しゃかい おお わたし な た わたし じぶん もんだい  
社会は多くの「私」で成り立っています。まず「私」が自分の問題としてとら  
え、人権意識を高めることが大切です。「他の誰かが」では、学びの機会から離れて  
しまい、無意識の差別をしてしまう。また、今ある差別に何もしないままだと結局は  
差別に加担することになってしまいます。

そっとしていても差別はなくなりません。それどころか偏見や思い込み、誤った  
情報やうわさ話でさらに差別意識が広がってしまいます。差別をなくすためには、  
ただ ちしき まな じゅうよう おも  
正しい知識を学ぶことが重要だと思ひます。

わたし じんけん どうわきょういく まな とお ひと であ たいせつ はんさべつ おも  
私は人権・同和教育の学びを通して一つひとつの出会いを大切に、反差別の思  
いを持ち、一緒に行動していく仲間作りをしていきたいです。

しゅじ たかはしけんたろう  
主事 高橋建太郎

ど いりんほかん おも ねんかんぎょうじ し  
土居隣保館の主な年間行事をお知らせします。

がつ ねんせいこうりゅうかい しょうがく ねんせいりんほかんがくしゅう  
6月 6年生交流会、小学3年生隣保館学習

がつ サマーキャンプ  
8月

がつ じんけん  
10月 人権のつどい

がつ しゅうがくぜんこうえんかい  
11月 就学前講演会

がつ りんほかん  
3月 隣保館まつり

